広報 KITA HIROSHIMA
きたひろしま

9月号
September
令和３年 2021.9
No.199

スポーツの「力」を信じて

2 **特集**
スポーツの「力」を信じて
8 **DX**
北広島町の未来のカタチ -AMR 実証実験編 -
12 **健康通信**
女性特有のがん、早期発見を！
14 **防災最前線**
「敬老の日」に防災機器をプレゼントしよう！
16 **ふるさと寄附**
令和２年度ふるさと寄附金制度 寄附の状況
18 **スポーツ**
広島新庄高校 甲子園出場おめでとう！

キタに恋♥来い 北広島 北広島町

特集 まちの可能性をひらく スポーツをキーワードとしたまちづくり

スポーツの「力」を信じて

スポーツの力。ラグビーワールドカップや東京2020では多くの人が熱狂し、一体となって応援したことも記憶に新しいでしょう。

人と人をつなぎ、感動を与えるのも「スポーツの力」の1つです。そして、輝くアスリートに触発されて、私たち自身もスポーツに親しむことで、心身ともに健康になれるかもしれません。夢を持つことができるかもしれません。仲間が増えるかもしれません。

昭和39年の東京オリンピックでは多くのレガシー（継承・享受する恩恵）が遺されました。たとえば国立競技場や日本武道館、東海道新幹線。ピクトグラム（絵記号）、ユニットバスなどの日本ならではのおもてなしによる発明もありました。これらを生んだのも「スポーツの力」です。

今、日本中で「スポーツの力」に熱い視線が送られています。今月は、北広島町の「スポーツをキーワードとしたまちづくり」を考えてみましょう。

地域×スポーツの教科書

中国や韓国では、見込みのある選手を国がお金を出して、トップアスリートとして育てます。個人を尊重する欧米では、サッカーなどに代表される「クラブチーム」というスタイルが主流です。

日本はと言うと「実業団」。企業に頼り切るスタイルで、世界でも日本だけではないでしょうか。

そんな実業団、総監督の時代には2回の廃部の危機がありました。景気がいいときは社員から「元気をもらった」「がんばれ」と応援してもらえますが、景気が悪くなると真っ先に切られるのがスポーツ。そして契約社員の選手たちです。

「選手たちに安定した環境で思い切りラケットを振って欲しい」。だから、豊平に地域密着型クラブチームを設立することにしたのです。地域に不景気はありません。

成功の勝算と言えるものはありませんでした。しかし「できるか、できないかではなく、やるか、やらないか」です。成功するまでやれば失敗はありませんから。

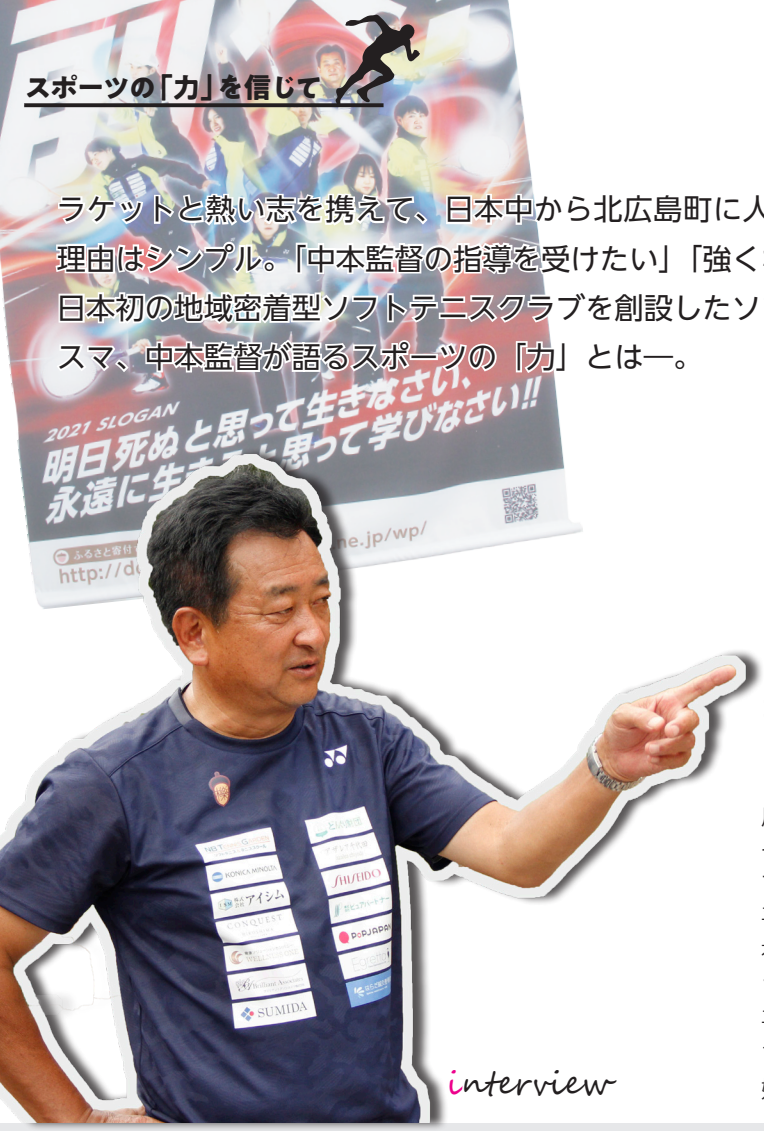
かつて、私が「攻撃型並行陣」という戦略を生み出したときも、セオリーから外れていたために、多くの批判を浴びました。「あんなのはテニスではない」「汚いテニスだ」。しかし、勝てば認めざるを得ない。その戦略が教科書になり、スタンダードになりました。

どん北は、日本初の地域密着型ソフトテニスクラブ。これが今、地域×スポーツの教科書になりつつあります。公民館を中心に集まった地域のファンが、バスを自腹でチャーターし、試合会場でピンクの手旗を振って応援してくれる。ふだんは野菜や米を差し入れ、わが孫のように接してくれる。実業団時代にはなかった「本当の、本気の応援」です。選手はそんな応援を背にがんばれる。選手のがんばる姿がファンの力になる。

日本中のプレーヤーたちが「地域に密着して成長し、地域も一緒に元気になる」。そんな時代にすることが私の夢でもあります。

応援しとるよ～！

ラケットと熱い志を携えて、日本中から北広島町に人が集まっています。
理由はシンプル。「中本監督の指導を受けたい」「強くなりたい」。
日本初の地域密着型ソフトテニスクラブを創設したソフトテニス界のカリスマ、中本監督が語るスポーツの「力」とは―。



interview

地域密着型ソフトテニスクラブ「どんぐり北広島」

中本裕二（なかもとゆうじ）監督

広島県呉市（旧音戸町）出身の62歳。音戸高→日本体育大→NTT西日本→どんぐり北広島。平成5年から平成10年まで全日本女子チームのコーチを務め、監督を歴任。
平成22年、日本代表女子の監督として、アジア競技大会史上初の金メダルを獲得。平成19年、平成23年には「生涯スポーツ功労者」として文部科学大臣賞を受賞。
平成27年に北広島町に移住し、地域密着型ソフトテニスクラブ「どんぐり北広島」を創設。
好きな歌手は長渕剛、月山翔雲。

スポーツの力は生きる力

スポーツの力。それは「生きる力」そのものです。

私は、自分の仕事を「世界一の選手ではなく世界一の人をつくることだ」と言っています。どん北では、最初の3年間で徹底的に生きる力を高めます。「当たり前のことが当たり前にできる」「自ら考え、行動する」「本気で取り組む姿勢ができる」こういった人としての成長もスポーツの力です。人間が成長するとテニスの技術もどんどん伸びます。

「生きる力」は、選手だけのものではありません。「観る」「応援する」だけでもいいのです。少なくとも、どん北を応援してくれている地域の人たちは、どん北を「生きがい」にして、心を寄せてくれていると思っています。

選手たちには「勝ち負けでなく、観る人に力を与える懸命なプレーをしろ」と指導しています。「どん北を応援したくなるチームにするんだ」と。「わがまちにはどん北がいる」。どん北が豊平だけでなく、北広島町全体の自慢になるとうれしいです。

また、どん北があることで、経済的な面でも地域が元気になってほしいと思います。現在どん北には、年間3千人超のプレーヤーが集まります。人が集まれば、食事もするし風呂にも入る。合宿もする。それが地域の収入になる。

北広島町には、すばらしい資源がたくさんあります。テニスに集中できる環境、おいしい水、米や野菜、充実したスポーツ・宿泊施設、温泉。そして温かい人たち。人こそ地域の宝です。

この資源とスポーツを掛け合わせ「精神・肉体・経済的に地域が元気になり、選手たちも一緒に成長する」相乗効果を生むことが、地域密着型クラブの果たす役割の1つだと考えています。

行政も企業も、どん北も町民のみなさんも本気で「スポーツをキーワードとしたまちづくり」に取り組めば、このまちに元気が広がっていくと確信しています。

スポーツをキーワードとしたまちづくり

スポーツ × まちづくりの可能性

スポーツはまちづくりにどのような可能性を与えるのか――。町長とSAH神田代表のスペシャル対談です。

北広島町長

箕野博司（みのひろし）

PROFILE

昭和30年北広島町南方生まれ。広島大学理学部を卒業後、広島北部農業協同組合で総務課長、総合企画部長、生活事業部長、千代田支店長、理事を歴任。平成25年から北広島町長。学生時代は剣道部に所属。

誰もが参加できる「きたスポ」

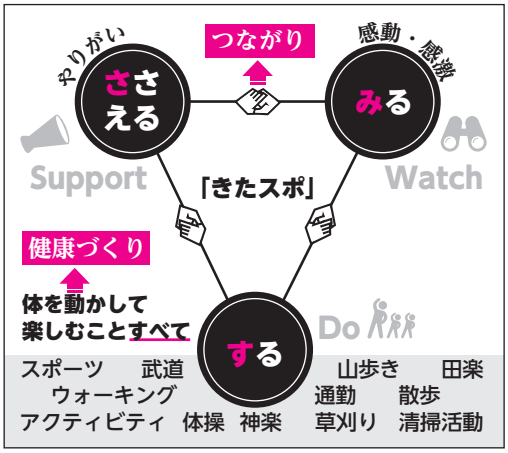
（箕野） 北広島町では、今年3月に「第2期北広島町スポーツ推進計画」を策定しました。そのなかで「きたスポ」という新たなスポーツの捉え方を提示しています。私たちの思い浮かべる「一般的な競技スポーツ」よりも広義にスポーツを捉えています。

（神田） すごくいい捉え方ですね。スポーツの捉え方はだんだん広がっています。私の捉え方は「ルールのなかで競う」です。たとえば田植えだって、速さや美しさを競う「田植え競争」があれば、それはスポーツだと思います。

（箕野） 北広島町では、自然を生かしたアクティビティやみんなで体を動かして達成感が味わえる「ボランティアのごみ拾い」、「草刈り」、「神楽」や「田楽」も「きたスポ」だと思っています。

（神田） そして関わり方には「する・みる・ささえる」があると。

（箕野） 高齢の人や障がいがある人、誰もが参加できるスポーツの形です。



「きたスポ」への関わり方は多様

（神田） 運動が苦手な人でも。

（箕野） そうそう。そして「する」「楽しむ」スポーツは、健康づくりにも寄与することを忘れてはいけません。高齢者のフレイル対策はもちろんのこと、生活習慣病の予防のためにも、体を動かすことは非常に重要です。また、子どもにとっては、幼い頃に体を動かした経験は運動能力や知的発達に関係すると言われていますよね。

（神田） 食事・睡眠・運動。どれも大切です。

（箕野） 子どもの頃は誰もが運動していたと思うんです。その運動習慣を、部活動が終わって就職してからも自然と続けられる、続けたいと思える北広島町を目指しています。

みる・ささえるスポーツ

（神田） 私たちは、どうしても「する」スポーツに目が行きがちですが、「みる・ささえる」ことも大切です。私は今、九州のプロ野球独立リーグで球団の代表をしています。いつも、数百人の熱い

※ＳＡＨ（エスエーエイチ）…スポーツアクティベーションひろしまの略称。「もっと笑顔にひろしまを。スポーツの力で」をビジョンに掲げ、市町が取り組むスポーツを活用した地域活性化などを支援するため、令和２年に県庁内に設置した組織

スポーツアクティベーションひろしま（SAH）代表

神田康範（かんだ やすのり）

PROFILE

昭和56年熊本県生まれ。オーストリアサッカー2部リーグ「SVホルン」やB.LEAGUE「ライジングゼファーフクオカ」の元代表取締役社長/CEOで、九州アジアリーグの「火の国サラマンダーズ」初代球団社長。令和2年からSAH※代表。

ファンが球場に通ってくれています。その様子を見ていると、球場は明日からがんばるパワーを充電する場になっていると思います。そして、野球観戦は家族の大切なイベント。子どもたちを球場に連れていくことで、家族の関係も深まりますよね。人をつなぐ。「みる・ささえる」ことによってもスポーツの力を受け取ることができます。

（箕野） スポーツを観ていると知らない人同士でもすぐ仲良くなれますよね。言葉の通じない外国の人でさえも。

（神田） 言語を越えるコミュニケーションの力があります。

（箕野） スポーツは、私たちが思う以上に広い範囲に、いい影響をもたらしてくれますね。

（神田） そうですね。そして「みる・ささえる」が地域に浸透してくると、次は「語り合う」。

（箕野） 広島人が集まるとカープやサンフレの話はしてしまいますね（笑）。町内では「新庄高校野球部」や「どん北」を、地域の人が語り合ってるのをよく耳にします。この積み重ねがシビックプライド（地元への愛と誇り）につながっていると思います。

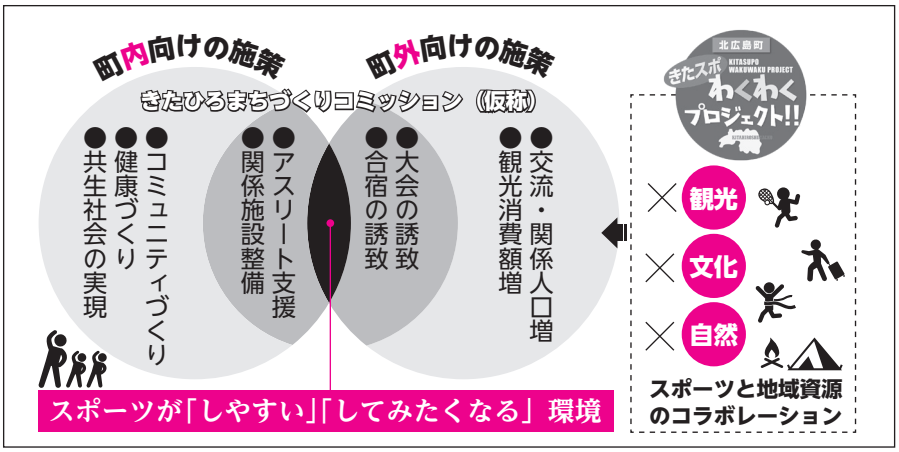
（神田） チームが所属する九州アジアリーグでも、このレベルに到達することを目標にしています。

スポーツの経済効果

（神田） 一方で、スポーツは「経済的な効果」も与えてくれます。たとえば、チケット収入、球場の使用料やグッズ販売、近隣での飲食、アウェイチームの宿泊代など。スポーツをキーワードにして、さまざまな経済効果があり、まちが活性化します。

（箕野） 北広島町も、もちろん経済効果は期待しています。町民がスポーツを通じて「心も体も健康になる」「人の結びつきが強くなる」インナー事業（町民向けの施策）が大切なのはもちろんですが、町外からスポーツをキーワードにして「人を呼ぶ」「関係人口を増やす」アウター事業（町外向けの施策）も推進していきたいと思っています。これらは別々に進めるものではなく、それぞれの事業が刺激しあって発展するものだと思っています。

（神田） おっしゃるとおりです。



きたひろまちづくりコミッション（仮称）と「わくわくプロジェクト」

NEXT PAGE ☞

若手が中心となる「わくわくプロジェクト」町長報告会の様子

（箕野） 取りかかりとして、アウター事業では、若者の発想力を生かす「きたスポわくわくプロジェクト」をはじめました。町職員や観光協会の若手が中心となって、観光プログラムの開発や、従来の観光スポットの磨き上げを企画しています。

（神田） ちょうどここに来る途中に、こんな自然のなかで「グランピングできたら気持ちいいね～」って話していたんですよ。

（箕野） もちろんグランピングやアウトドアアクティビティも人の流れをつくるコンテンツ。このまちにある資源を再発見・新発見して、活用したいと思います。

（神田） 雪も降りますしね。資源がたくさんありそうです。そうだ、「どん北」の話は九州でもよく聞きますよ。「北広島町に行く」と話したら「ああ、ソフトテニスの」と言われましたから。このようなトップアスリートたちがいることも大きな資源です。

（箕野） そうですね。スポーツをキーワードに、観光や文化・自然、人も掛け合わせて、地域へ経済効果があるようにしたい。そして、推進する組織を自立させていくことも大切だと思っています。

（神田） 広島県でも、SAH（スポーツアクティベーションひろしま）というスポーツコミッションを組織していますが、民間単独では調整しきれないことも、「広島県」の看板があると違います（笑）。事業実施では、民間の力や考え方をベースにしながらも、「信頼性」はやっぱり行政の力が大きい。

（箕野） 民間は発想も柔軟だし、どんどん事業を引っ張ってもらいたいと思います。その発想を実現できるように支援していくのが行政の大切な役割の1つでしょう。

（神田） そうですね。SAHでも市町それぞれのスポーツを活用したまちづくりを支援します。また、広島県の貴重な資源であるトップアスリートを横断的にPR・サポートしていきます。

地域を笑顔にする力

（箕野） いろいろとお話をさせてもらいましたが、神田さん自身、スポーツはまちづくりのキーワードになり得ると思いますか。

（神田） 断言できます。なり得ます。スポーツに関わっているとき、人って生き生きとして笑顔になるじゃないですか。人も地域も笑顔にする力があるんです。スポーツでプラスになることはあってもマイナスになることはありません。よく「スポーツにかける金があるなら、インフラの整備を」という声を聞きますが、私は、スポーツは道路を整備することと同じように重要だと思います。

（箕野） それはまったく同感です。何度も言いますが、スポーツには力がある。みんな笑顔になる。心と体の健康をつくり、まちに経済効果をもたらすコンテンツです。これをしっかりとこれからのまちづくりに生かしていきたいと思っています。

（神田） 北広島町では、誰もが参加できる「きたスポ」という新しい概念を作られました。これは、町民のみなさんにとっても、ものすごく意味のあることだと思います。

（箕野） ありがとうございます。スポーツをキーワードにして、どんどん輪を広げたいですね。スポーツといろいろなものをミックスして、足し算ではなく掛け算に。

（神田） SAHも応援します。町民のみなさんにも「きたスポ」が浸透することを願っています。

END

Kitahiroshima きたスポ Sports

する Do
みる Watch
ささえる Support

スポーツの関わり方は十人十色。誰もが参加できる「スポーツをキーワードとしたまちづくり」を進めます。

振興から推進へ。北広島町では、今年3月に第2期北広島町スポーツ推進計画（令和3年度～令和7年度）を策定しました。

この計画が目指す姿は、「きたスポ（きたひろスポーツ）を通じて幸福感・満足感を感じられる北広島町」です。目指す姿を実現するために、左の5つの政策目標を掲げています。

計画の策定に先だって、令和元年度からは、国の地方創生推進交付金を活用した「スポーツをキーワードとしたまちづくり」に取り組んでいます。

現在取り組んでいるのは、組織づくり。従来のスポーツコミッションとDMO（観光地域づくり法人）の機能を併せ持ち、「きたスポ」と魅力ある地域資源を掛け合わせながら、人の結びつきを強め、町民一人ひとりの健康をつくり、経済を活性化させることなどに中心となって取り組みます。

「きたスポ」は、誰でも参加できるスポーツです。「これってスポーツなの？」というものでも、楽しさや喜び、幸せを感じる身体活動はすべて「きたスポ」。

従来のいわゆるスポーツはもちろん、地域で行う草刈りも、祭りのための神楽の練習も、元気づくり体操も、すべてが「きたスポ」です。そこには、仲間と体を動かし、1つのものを目指す喜びや爽快感があるからです。

また、アスリートや地域のクラブチーム、サークルなどを応援する、スポーツを観戦することでも、「きたスポ」に参加できます。

まずは、私たちの日常にある「きたスポ」を地域の仲間と共有し、自分なりの関わり方で楽しんでみませんか。新たな「スポーツをキーワードとしたまちづくり」は、はじまったばかりです。

きたスポを通じて達成する

5つの政策目標

1 共生社会の実現

心と施設のバリアフリー化を推進、すべての人が「きたスポ」を通じて交流し、誰もが安心して健康に暮らせるまちへ

2 健康長寿社会の実現

若者から高齢者までが「きたスポ」を楽しみ、継続できる環境を整備し、心身の健康だけではなく、町民の誰もが楽しく暮らせるまちへ

3 経済の活性化

地域資源と「きたスポ」を融合、観光・スポーツ合宿・大会誘致などにより地域産業を活性化。地域のにぎわいや新たな雇用などが創出されるまちへ

4 地域の活性化

住民間の交流促進、各種団体の活動の充実により、誰もがやりがいや生きがいを感じ、北広島町への愛着や誇りが創出されるまちへ

5 トップアスリートの支援と活用

トップアスリートが多様な支援を受けて活躍でき、それを見る子どもたちが憧れを持ち、スポーツに取り組むことで新たなトップアスリートが輩出されるまちへ

名称変更
体育協会→スポーツ協会

今年の４月１日から、北広島町体育協会は「北広島町スポーツ協会」に名称を変更しました。

これまで「体育」という言葉は、スポーツを含んだ幅広い意味で認識されていましたが、現在では、逆にスポーツが競技スポーツだけでなく、体育や身体活動の概念を含むものと認識されるようになりました。

北広島町スポーツ協会も、この言葉の認識の変化に沿って、名称を新たにスポーツを推進します。

北広島町の未来のカタチ

みんなで考えよう！

AMR 実証実験編

昨年の広報きたひろしま 11 月号で紹介した「北広島町の未来のカタチ」。現在、北広島町では「ひろしまサンドボックス事業」などを活用して、さまざま民間企業と協働しながら事業を進めています。まずは「自動配送ロボット」の実証実験がこの秋スタートします！

◀北広島町の未来のカタチ

問総務課 DX チーム

TEL ☎050－5812－1850

生活を豊かにするDX

北広島町では、昨年4月に北広島町DXチームを立ち上げ、デジタル技術を活用して、地域の課題を解決し、私たちの生活を豊かにするための取組を進めています。

今年5月には「デジタル町民ファースト」を宣言し、広報きたひろしま7月号で紹介した「8つの挑戦」を進めるとともに、町民の生活をデジタル技術を使って豊かにする「暮らしDX」にも取り組んでいます。

らくらくお買い物の未来？

買い物は生活するうえで欠かせないものです。「買い物に行く時間がない」「交通手段がない」「重い買い物袋を持ち帰るのが大変」。みなさんは、日用品や食料品の買い物に困っていませんか。

その困りごとを解決するかもしれない「AMR（自動配送ロボット）」の実証実験を、9月下旬に役場本庁周辺とショッピングセンターサンクスをフィールドとして実施します。

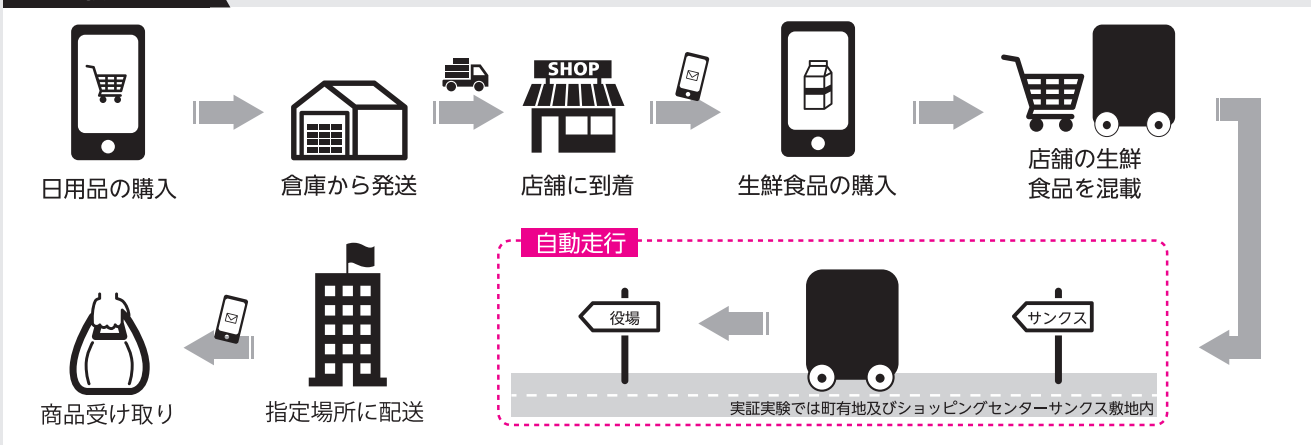
どんな実証実験をするの？

今回の実証実験は、広島県の「ひろしまサンドボックス事業」※1の「D-EGGS（ディーエッグス） PROJECT（プロジェクト）」で採択されたもので、下の図のように、あらかじめネット注文した日用品をショッピングセンターサンクスに届け、AMRがサンクスで販売する商品と混載、自動走行で役場本庁まで輸送します。

実証実験を行うにあたり、6月28日㈪、町長室に、AMRを開発する東京都のITベンチャー企業、Yper（イーパー）㈱と、実証フィール

左から Yper ㈱の内山代表取締役、箕野町長、㈱コムズ重村取締役副社長

実証実験のフロー



※1…デジタル技術により、これまでにない新しい課題解決策を創り出すための実証実験の場。サンドボックスとは試行錯誤できる「砂場」のこと

たとえば！ かも？ AMRで変わる私たちの生活

近くに買い物できるお店がない！

たとえば！
AMRが路線バスと連結、お店から遠い場所にも配達！

米や水、重たいものを持ち帰るのは…

たとえば！
商品は直接見たい！購入した商品は預けて、帰りは手ぶら！

子どもを連れての買い物が面倒！

たとえば！
保育所に配達された商品をお迎えと同時にピックアップ！

帰宅時間が遅くて食料品が買えない！

たとえば！
勤務先で注文した商品を高速バスの降り口で受け取れる！

いろいろなお店に立ち寄るのはしんどい！

たとえば！
商品を各専門店からAMRが集配して自宅に配達！

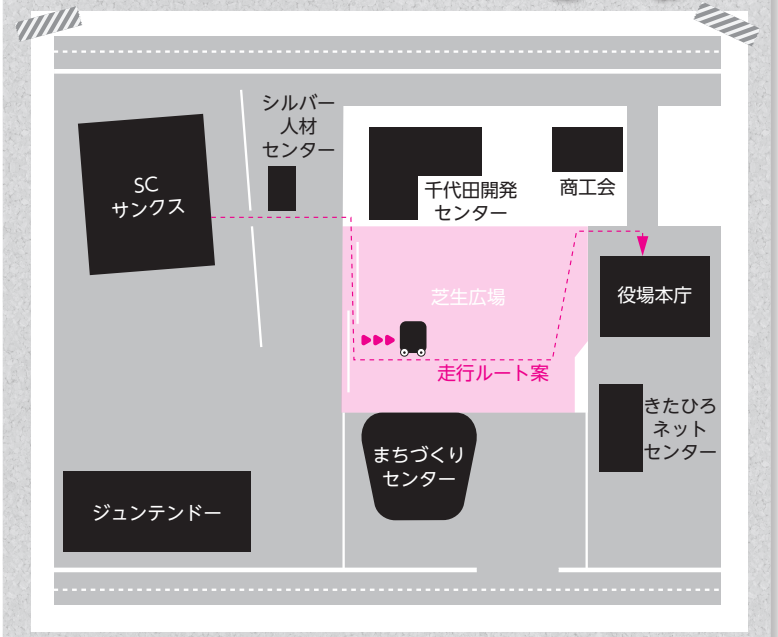
各家庭に配達するスタッフが足りなくて…

たとえば！
配達はAMRで！置き配※2と組み合わせで配送効率↑

ぼくが自動運転で荷物を運びます！
高さは大人の腰くらいで、
人が歩くくらいの速度で進みます。
安全第一でお届けしますね！

開発中のAMR「LOMBY（ロンビー）」

実証実験の走行ルート案



※開発中のAMRのデザイン・走行ルートは変更となる場合があります

ドを提供する㈱コムズ、北広島町の3者が集まり、連携協定を締結しました。

将来、北広島町のような中山間地域では、配送拠点からそれぞれの家に荷物を届けることが困難になる可能性があります（ラストマイル問題）。

北広島町が全国の中山間地域の先駆けとなり、この問題を解決し得るAMRの実証実験に取り組むことで、私たちの暮らしがもっと便利になり、日本中の物流が変わるかもしれません。「北広島町の未来のカタチ」に描かれた未来が少しずつ近づいています。

Interview

Yper㈱
代表取締役
内山智晴（うちやまともはる）さん

私たちの会社では、これまで置き配バッグ™「OKIPPA」の提供を通じて、再配達の削減に取り組んできました。
AMRの開発は新たなチャレンジです。今回初めて北広島町を訪問し、地域の課題と期待感を肌で感じています。
今回は、私有地・町有地での実証実験となりますが、この10月には道路交通法も改正され、AMRが公道を走れるようになります。いよいよ事業化のフェーズです。地域の課題解決への期待に応えられるよう、機体の作り込みを進めたいですね。
採算性についても、北広島町のみなさんにしっかりインタビューをさせていただきながら、社会実装を目指して取り組みます。

※2…配達員が荷物を手渡しせず、指定された場所に荷物を置く、非対面・非接触の配達サービス

ごみは資源としてリサイクル！

令和２年度

資源ごみリサイクル町民総ぐるみ運動事業結果発表

問町民課環境管理係　IP☎０５０－５８１２－１８５４

「家庭ごみの出し方・分け方」

燃えるごみと「思われているもの」のなかに、実はリサイクルできるものがたくさんあります。

例えば、包装紙やお菓子の箱、トイレットペーパーの芯などの「ざつ紙」や、新聞紙や段ボールなどです。これらは「古紙類」として分別することができます。「紙だから燃えるごみ」と考えがちですが、資源ごみとして分別しましょう。

北広島町では、ごみの減量化と資源のリサイクルを推進するため「資源ごみリサイクル町民総ぐるみ運動事業」として、自治会やＰＴＡなどの登録団体が集めた資源ごみの量に応じて助成金（７円／kg）を交付しています。

昨年度は、コロナ禍により、集団回収が中止されるなどした影響で回収量が減少しましたが、約３８３ｔのごみが資源へと生まれ変わりました。今年度も、地域での集団回収などを利用して、町民一丸となってより多くのごみを資源として活用しましょう。

資源リサイクルステーションも活用！

▽場所　役場本庁駐車場

▽時間　24時間いつでも（※年末年始は除く）

▽対象　新聞・雑誌・段ボール・ざつ紙などの古紙

▽料金　無料

知っていますか？建退共制度

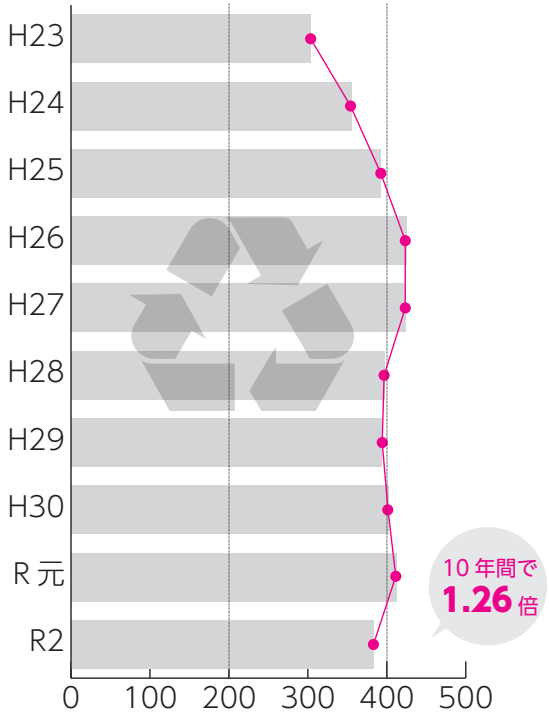
退職金は、勤務条件の重要な部分です。しかし中小企業はそこまで手が回らないのが現状です。

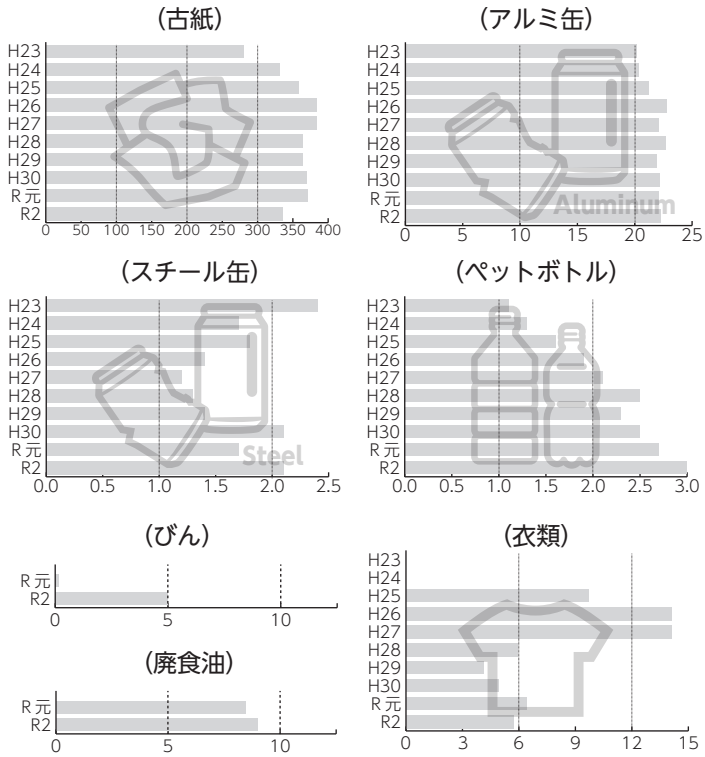
建退共は、退職金制度が未整備となりがちな中小企業を対象とした、建設現場で働く人たちのためにつくられた、退職金の共済制度です。

建退協制度への加入を検討する建設事業主は、建退協ホームページを確認してください。

問建退協広島県支部　☎０８２－２２３－４２３０

■集団回収量の推移グラフ（単位はすべて t）





■集団回収量の前年度との比較表（単位は Kg）

年度	古紙	アルミ缶	スチール缶	ペットボトル	衣類	5 品目合計	びん類	廃食油	総量
令和 2 年度	335,730	22,287	2,111	3,045	5,730	368,903	5,040	9,110	383,053
令和元年度	370,508	22,113	1,746	2,681	6,392	403,440	500	8,780	412,720

よくある質問

Q 個人情報はどうすればいい？
A はがきの宛名など個人情報は黒塗りでつぶしてください。

Q シュレッダーの紙は出せる？
A 飛び散ることがあるので回収できません。

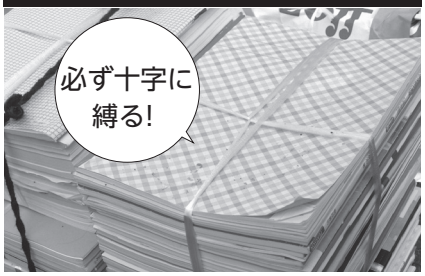
Q 段ボールは段ボール箱に入れてまとめてもいいの？
A 段ボール箱に入れずに、折りたたんでひもで縛って出してください。

資源リサイクルステーションの使い方

②奥から入れる

古紙は 24 時間出すことができます。次に使う人のために、奥から入れるようにしましょう。

①古紙をまとめて縛る



雑誌などはビニール袋から出します。段ボールは 1 辺 50㎝程度に折りたたみ、1 つが 10kg以内になるようひもで縛りましょう。

自衛官などの募集

自衛官などを次のとおり募集しています。ここに掲載するほかにも、防衛大学校学生なども募集していますので、詳しくは自衛隊可部募集案内所のホームページを確認してください。

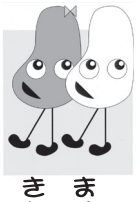
募集種目	応募資格	応募締切	一次試験日
自衛官候補生	18 歳以上 33 歳未満の者	年間を通じて	受付時にお知らせ
一般曹候補生	18 歳以上 33 歳未満の者	9 月 6 日㊊まで	9 月 16 日㊍～ 19 日㊐
航空学生（海）	18 歳以上 23 歳未満の高卒（見込含む）または高専 3 年次修了者	9 月 9 日㊍まで	9 月 20 日㊊
航空学生（空）	18 歳以上 21 歳未満の高卒（見込含む）または高専 3 年次修了者		

問自衛隊可部募集案内所　☎０８２－８１５－３９８０

第197回

健康通信

問 保健課
健康増進係
IP☎1853



まめつメ
きたひろしま

女性特有のがん、早期発見を！

女性特有の体の構造から、女性は「乳がん」や「子宮がん」などのがんがあります。がんの多くは、高齢になるほど発症リスクが高まりますが、働き盛りの年代では、女性は男性よりがんにかかる割合が高いと言われています。

また、女性特有のがんは、近年、若年化が進み、20～40代での発症が増えています。

乳がんってどんな病気？

乳がんは、女性のがんのなかでは最も多いがんで、罹患数も死亡数も年々増えています。乳がんは、30代から増加し、50歳前後が最も多くなります。

自覚症状は、しこり、乳頭からの異常分泌、乳頭や乳輪のただれなどがあります。早期の小さながんは、しこりとして触れません。早期発見には、マンモグラフィによる検診が不可欠です。

子宮がんってどんな病気？

子宮がんには、子宮の奥である子宮体部にできる「子宮体がん」と、子宮の入り口である頸部にできる「子宮頸がん」があります。

子宮体がんは閉経後の50代以降に多く、子宮頸がんは、20～30代に急増しています。

自覚症状は、不正出血やおりものの異常です。しかし、初期にはほとんど自覚症状がありません。

がん検診を受けよう

今年度から、乳がん・子宮頸がん検診を県内の専門医などで受けることができるよう、実施委託医療機関を増やしました。

乳がん検診は7医療機関、子宮頸がん検診は11医療機関で受診できます。また、秋の集団健診（9月21日～11月10日・町内4会場）での検診もあります。

女性特有のがんは、早期発見が重要です。検診を希望する人は、保健課まで申し込んでください。

楽しく運動　いいことといっぱい！

私の元気づくり体験記

元気づくり推進事業は現在61会場で実施中です。参加者の声を紹介します。

西横町元気クラブ
（毎週火・木曜日）午前9時30分～11時

元気づくり体操を始めて丸4年になります。休まずに参加する最高齢91歳の人を目標にみんなでがんばっています。

体操を始めてから風邪をひかなくなり、よく眠れ、ごはんがおいしいです。股関節が悪く通院していましたが、痛みが和らぎ、病院に行かなくてもよくなりました。家事も楽にできるようになりました。

コロナ禍で体操が休みになったときには体がなまり、みんなに会えず、さみしかったです。習慣になった体操をこれからも続けていきたいと思います。

保健師の心の健康コラム

精神的な病気は、入院による治療が必要になることがあります。

精神科の入院制度には大きく分けて3つあります。本人が自ら入院を同意する「任意入院」、家族などの同意による「医療保護入院」、都道府県知事の権限による「措置入院」です。こうした入院制度は精神保健福祉法で定められています。

入院治療は、医師や看護師がすぐに対応できる環境で、薬の調整をし、まずは心と体を十分に休ませる治療をします。ある程度回復してきたら、退院後の家庭などでの生活に向けて少しずつ生活の練習をします。

退院前には、本人と家族、担当医師や病院の相談員と地域の保健師が、退院後の療養生活や地域での福祉サービスや制度の利用について相談や準備をしてから退院となることもあります。

入院治療は、本人だけでなく家族を含めて、今後の生活を送るために考える機会になります。

こんにちは！北広島町地域包括（ほうかつ）支援センターです。

問 保健課
地域介護係
IP☎1853

認知症への理解を深める

平成6年、国際アルツハイマー病協会（ADI）は、世界保健機関（WHO）と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定しました。そして、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、アルツハイマーをはじめとする認知症への理解を深めるため、さまざまな取組を行っています。

今月はそれに合わせて、北広島町で行っている啓発活動を紹介します。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをする人のことです。

北広島町では、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の人や高齢者にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

養成講座を受講する人は、地域住民、金融機関や小売店の従業員、小・中・高等学校の児童生徒などさまざまです。

認知症にやさしい図書館

幅広い年齢層の人に「認知症」という言葉に触れ、知るきっかけにしてもらおうと、認知症に関する書籍を展示しています。

今年度は、8月に北広島町図書館本館、9月に芸北分館、10月に豊平分館、12月に千代田分館で展示を行います。

きたひろネット「でめ活」

毎月、きたひろネットで認知症に関する番組「でめ活」を放送しています。

「でめ活」とは、認知症を意味する英語「ディメンシア」と「活動」を組み合わせた造語で、番組では、医師や認知症地域支援推進員が認知症の症状や脳トレ体操などを紹介しています。

認知症かも？早めの相談を

認知症を早期発見・治療することは重篤化を防ぎ、症状の進行を遅らせるうえで大切です。

もしかすると、認知症のような症状を示す別の病気である可能性もあります。

自分や家族が「認知症かも」と思ったら、早めに次の相談窓口に相談してください。

○広島県北部・安芸・認知症疾患医療センター（千代田病院内）
相談員 認知症地域支援推進員
☎0826-72-8262

○認知症電話相談
相談員 認知症の人と家族の会
受付 火曜日午後1時～4時30分
☎082-553-5353
相談員 社会福祉士
受付 木曜日午後1時～4時30分
☎082-569-6501

○広島県若年性認知症サポートルーム相談員
若年性認知症支援コーディネーター
受付 ㊊～㊎午前9時～午後5時
☎082-298-1034

認知症ってなに？

小学校での認知症サポーター養成講座

「認知症」は病名ではなく、特有の症状を示す状態を総称する言葉です。認知症を引き起こす病気はたくさんありますが、代表的なものは「アルツハイマー病（アルツハイマー型認知症）」「（脳）血管性認知症」「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症（ピック病）」の4つです。特に日本ではアルツハイマー病が多く、全体の6割以上を占めています。
アルツハイマー病と血管性認知症の混合タイプも少なくありません。これらの病気を根本的に治す治療法はありませんが、アルツハイマー病とレビー小体型認知症は抗認知症薬で進行を遅らせる治療を行います。

Fire-fighting spirits

防災最前線

北広島町消防本部
IP050-5812-1119
火災情報
IP050-5812-8119

■住宅用火災警報器を設置しましょう
■9月1日～21日は住宅防火・防災キャンペーン
■9月9日は「救急の日」

「敬老の日」に防災機器をプレゼントしよう！

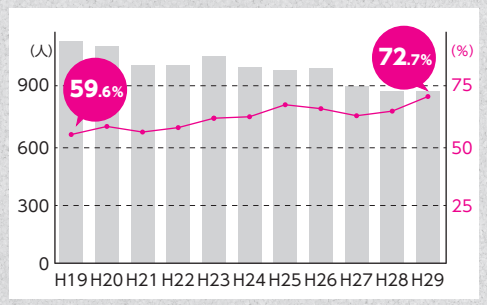
近年、住宅火災によって亡くなる人のうち、65歳以上の高齢者の割合が増加しています。

9月1日～21日は住宅防火・防災キャンペーン期間です。この機会に「敬老の日に火の用心の贈り物を」をキャッチフレーズに、高齢者に防災機器をプレゼントしてみませんか。

9月1日は防災の日でもあります。プレゼントを通じて、高齢者だけでなく、すべての人が改めて防災や火災予防について考えましょう。

住宅火災の死者数と高齢者の割合

○棒グラフは住宅火災の死者数
○折れ線グラフは高齢者が占める割合



（出典）総務省消防庁

全体の死者数は減少傾向だけど、高齢者が占める割合は増加傾向です！

知らせる・消す・食い止める　火災から命を守る3種の神器

消火器

火災を発見したら初期消火。火の勢いが小さいときには消火が可能です。手軽に使えるスプレータイプ（エアゾール式簡易消火具）の製品などもあります。

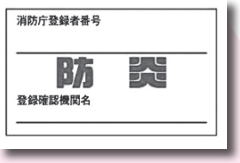
住宅用
4,000 円程度

住宅用火災警報器

4,000 円程度

火災は早期発見が大切。煙や炎を感知して警報音で知らせてくれます。火の勢いが小さいうちに火災を発見し、避難や初期消火など次の行動につなげましょう。

防災物品



防災カーテン
3,000 円程度

このラベルがついたカーテンやじゅうたんなら普通の製品に比べ、着火しにくく、火の回りを遅くしてくれます。少しでも避難の時間を稼ぐための重要な道具です。

9月9日は救急の日

広島県では救急業務、救急医療について理解を深めることを目的に、9月9日の救急の日から1週間を救急医療週間と定めています。

この機会に救急車の適正利用について考えてみましょう。

救急車、呼ぶか迷ったら

地域の限られた医療資源を有効に活用するために、緊急性が高いときには救急車の要請を、そうでないときは症状などに応じたタイミングで医療機関を受診することが大切です。

突然のけがや病気、「救急車を呼ぶか、病院へ行くか」迷ったとき、「こんな症状で救急車を呼んでいいの？」と思ったときには「＃7119」で救急相談センター広島広域都市圏に相談してみましょう。

看護師などが24時間体制で電話による相談を受け、救急車の必要性の判断、応急手当の方法、適切な医療機関の案内などのアドバイスを行います。

救急車を呼ぶか迷ったら
救急相談センター広島広域都市圏
＃7119
IP から 082-246-2000

▲オオハンゴンソウの駆除作業

ミライと夢

Vol.8

地域とともに

地域おこし協力隊通信・集落支援員だより

問まちづくり推進課地域づくり係
IP☎050－5812－1856

地域おこし協力隊の活動はフェイスブックでも発信中▶

千町原で生物の多様性を守る活動

金田龍彦（かねだ たつひこ）隊員

芸北、八幡地区の千町原（せんちょうばら）をご存じですか。芸北高原の自然館の南西に位置する、心地よい風が吹く美しい草原です。

この千町原では、外来種の植物「オオハンゴンソウ」の繁殖が問題となっており、有志グループによる駆除活動が続けられています。

私も昨年7月から、毎月1度の草刈りに参加しています。この活動は外来種の駆除だけでなく、草原の維持にも役立っています。

草原は、住処とする昆虫や、昆虫を食べる鳥など、さまざまな生物の生活する場です。人の手が入らなくなった草原は、森にのまれ、失われてしまいます。草や境界部分の低木などを適度に刈ることで、この草原は守られています。

作業は大変ですが、この活動に参加できることを、とてもうれしく思っています。（金田）

仲間たちと距離をとって休憩

テングシデ・吉川氏の史跡巡りの虎の巻！

平田義孝（ひらた よしたか）支援員

地元田原自治会が事業主体となり、国の天然記念物「大朝のテングシデ群落」周辺を立木を伐採して幼木が育つよう条件を整備しました。

この整備で伐採した立木を使った東屋（あずまや）と遊歩道を作り、テングシデを紹介するパンフレットと熊城山に登る遊歩道の散策マップを作成しています。

また、北広島町には、吉川氏が築いた駿河丸城跡・小倉城跡・日山城跡（ひのやまじょうせき）など国史跡に指定された貴重な史跡がたくさんあります。

今回、安芸吉川会・戦国の庭歴史館・観光協会の協力を得て、古地図に日山城の表玄関となった中山市や元春館跡、万徳院跡などの写真と説明文を入れたパンフレットも作成しました。

これらのパンフレットは、大朝支所や観光協会などに設置しています。ぜひ熊城山トレッキングや史跡巡りに活用してください。（平田）

作成したパンフレット

令和２年度ふるさと寄附制度

令和２年度ふるさと寄附金制度 寄附の状況

令和２年度もふるさと寄附金制度に多くの寄附がありました。この尊い寄附金は、寄附の趣旨に沿って活用します。

寄附の件数 **577** 件

寄附の総額 **38,806,000** 円

たくさんの寄附を
ありがとうございました！

【使途希望内訳】

自然の保全に関する事業		
生物多様性の保全と活用	1,706,000 円	(37 件)
湖沼・河川の適切な管理	355,000 円	(20 件)
森林の適正な管理	679,000 円	(33 件)
伝統文化の継承に関する事業		
歴史・文化遺産の保存と活用	173,000 円	(9 件)
文化施設の整備	100,000 円	(7 件)
伝統行事・郷土芸能の保存と活用	677,000 円	(19 件)
教育の振興に関する事業		
学校施設の整備	1,414,000 円	(56 件)
生涯学習の推進	390,000 円	(5 件)
ふるさと教育の推進	387,000 円	(11 件)
その他		
定住促進事業の推進	106,000 円	(5 件)
協働によるまちづくり（芸北地域）	5,420,000 円	(9 件)
協働によるまちづくり（大朝地域）	178,000 円	(8 件)
協働によるまちづくり（千代田地域）	3,096,000 円	(5 件)
協働によるまちづくり（豊平地域）	567,000 円	(9 件)
事業の指定なし	22,812,000 円	(346 件)
新型コロナウイルス対策	746,000 円	(22 件)

※１回の寄附で複数の使途を指定する場合があるため、寄附件数と使途希望内訳の合計件数は一致していません

【寄附者一覧】

1 万円寄附者	沼田敏明様	森谷昭是様	古野直樹様	**10 万円寄附者**
井川竜太様	福田保雄様	岩田公正様	油井憲二様	上田嘉弘様
上岡健司様	松井朋樹様	河野幸正様	**4 万円寄附者**	川野夕起恵様
潮田光政様	松石嗣久様	藤正洋吾様	室畑遼太様	末本朱美様
金田賢二様	三田義之様	**3 万円寄附者**	**5 万円寄附者**	南勝仁様
金広伸也様	宮本修様	今條純子様	大槻進様	**30 万円寄附者**
河島岳志様	森本勝也様	上野晃一様	岡本良秀様	石橋三千男様
河野きよし様	山口ひとみ様	上東法久様	小川康貴様	**50 万円寄附者**
河野雅明様	渡邉裕子様	河野伸太郎様	河野幹章様	迫谷富三様
澤田真一様	藤井昇様	小畑伸二様	駒木康宏様	**500 万円寄附者**
田高和子様	市川弘様	杉本正衛様	渡邉誠様	掛常夫様
出澤大様	**2 万円寄附者**	棚谷耕治様	秋田翔様	**匿名希望**
内藤契子様	石中好雄様	永井俊介様	**7 万 8 千円寄附者**	462 人
仲本紀子様	隅岡和史様	橋本武司様	前田匠様	31,448,000 円

※同年度に複数回の寄附をする場合があるため、寄附件数と人数は一致していません

問まちづくり推進課定住推進係　IP ☎０５０－５８１２－１８５６

農業者なら誰でも入れる「終身年金」
農業者年金で安心で豊かな老後を

問農林課農地調整係　IP☎１８５７

農業者年金は、農業従事者のうち、自営農業に従事する個人が任意で加入できる年金制度で、国民年金（基礎年金）の上乗せ年金の１つです。

安心で豊かな老後を送るために農業者年金への加入を検討してみませんか。農業者年金の問い合わせや相談は、北広島町農業委員会か最寄りの農業協同組合にお願いします。

▷農業者年金のポイント

❶農業者なら誰でも入れる「終身年金」

○年間 60 日以上農業に従事し、国民年金第１号被保険者（保険料免除者を除く）である 20 歳以上 60 歳未満の人が加入できます。

○農業者年金は、積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強く、自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。（80 歳前に死亡した場合は、死亡一時金を遺族に支給）

❷一定の要件を満たせば保険料の国庫補助も！

○認定農業者で青色申告の人や、その人と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者など一定の条件を満たす人には、保険料の国庫補助があります。経営継承など一定の要件を満たせば将来は特例付加年金として受給できます。

❸生涯を通じて税制面で大きな優遇措置！

○支払った保険料は、家族分も含めて全額が社会保険料控除の対象となり、所得税や住民税などの節税になります。

○将来受け取る農業者年金には公的年金等控除が適用されます。

障がいを知り、共に生きる

広島県「思いやり駐車場」利用証交付制度

身体・精神・知的障がい、難病、高齢、けが、妊娠などによって車の乗降や歩行の困難な人は公共施設やショッピングセンターなどに設けられた専用の「思いやり駐車場」を利用できます。

利用者証は、期間制限のない「緑」と有効期限のある「赤」の２種類があります。次の表に該当する交付対象者で、交付を希望する人は、福祉課または各支所住民係で申請してください。

■緑の利用者証（期間制限なし）

対象者			確認書類
視覚		１～４級	身体障害者手帳
平衡機能		３、５級	身体障害者手帳
肢体不自由	上肢	１、２級	身体障害者手帳
肢体不自由	下肢	１～６級	身体障害者手帳
肢体不自由	体幹	１～３、５級	身体障害者手帳
脳原性運動機能	上肢機能	１、２級	身体障害者手帳
脳原性運動機能	移動機能	１～６級	身体障害者手帳
心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸		１、３、４級	身体障害者手帳
免疫機能、肝臓機能		１～４級	身体障害者手帳
知的障がい者		Ⓐ、A	療育手帳
精神障がい者		１級	精神障害者保健福祉手帳
難病患者	特定疾患医療受給者、特定医療費（指定難病）受給者、小児慢性特定疾病医療受給者		受給者証
高齢者など	介護保険の要介護状態区分が要介護１以上		介護保険被保険者証

■赤の利用者証（期間制限あり）

対象者	確認書類
妊娠７か月から産後１年６か月の妊産婦（産後は１歳６か月までの乳幼児と同伴の場合に限る）	母子健康手帳
けがなどで、車の乗降や歩行に支障のある人	医師の診断書または意見書
発達障がいなどで、歩行時に介助者の特別な注意が必要な人	医師の診断書または意見書

問福祉課地域福祉係　IP☎０５０－５８１２－１８５１

5年ぶり3回目の栄冠

広島新庄高校 甲子園出場おめでとう

▲優勝を決め、マウンド上で喜びを爆発させる部員たち

第103回全国高校野球選手権広島大会の決勝が8月1日㊐、しまなみ球場（尾道市）で行われました。

広島新庄は、準決勝の西条農業戦、延長十二回サヨナラ勝ちの勢いそのまま、祇園北に対して、序盤から試合の主導権を握ります。一回、無死満塁から4番の花田（はなだ）選手（千代田中出身）が四球を選び先制。その後も内野ゴロの間に1点を追加。さらに連続タイムリーで5点を積み重ねます。

投げては西井（にしい）投手、秋山（あきやま）投手の両左腕が、強打の祇園北を3安打完封リレー。バックも堅守で攻撃のリズムを作ります。中盤・終盤にも得点を重ね、12-0で快勝。

夏の広島大会を5年ぶりに制覇し、創部史上初の春夏連続の甲子園出場を決めました。

第103回全国高校野球選手権 広島大会での戦績

2回戦	7月18日㊐	16	-	4	舟入	（7回コールド）
3回戦	7月20日㊋	3	-	0	宮島工業	
4回戦	7月24日㊏	7	-	0	安芸南	（7回コールド）
準々決勝	7月27日㊋	6	-	2	瀬戸内	
準決勝	7月30日㊎	8	-	7	西条農業	（延長12回）
決勝	8月1日㊐	12	-	0	祇園北	

左から平野さん、亀山さん、箕野町長

7/13（火） 令和３年度野生生物保護功労者表彰
新庄学園に感謝状

新庄学園生徒代表の高校１年生、亀山陽叶（かめやまはると）さんと平野日加利（ひらのひかり）さんが町長室を訪れ、「野生生物保護功労者表彰」において、林野庁長官から感謝状を贈呈されたことを報告しました。

同学園では、これまで 10 年間にわたってテングシデやサンショウウオなどを研究。亀山さんは「町長や先生方にいい報告ができてうれしい。ＳＤＧｓ（エスディージーズ）につながるいい活動だと思う」と少しはにかみながら話しました。

手づくりの醤油と柿酢を前に話す前田さん

6/28（月） 地域おこし協力隊
前田奈津枝さんが任期修了

６月で地域おこし協力隊としての任期を終えた前田奈津枝（まえだなつえ）さんが町長室を訪れ、３年間の活動を振り返りました。

前田さんは、平成30年から豊平地域を拠点に、藍染め商品の制作販売やヘチマたわしの普及など自然素材を活用した地域おこしに取り組みました。「これからも北広島町の畑のある暮らしを満喫しながら、みんなにハッピースパイラルを巻き起こしたい」と笑顔で話しました。

本庁玄関で舞太郎から花束とぬいぐるみを受け取った白砂選手

7/26（月） 東京 2020 パラリンピック出場
白砂匠庸選手が表敬訪問

大朝地域在住で、東京 2020 パラリンピック陸上競技、やり投げ（F46 クラス）に出場する白砂匠庸（しらまさたくや）選手が町長を表敬訪問しました。

拍手で迎え入れた町長は「地域にとってもすごいニュース。力を発揮して子どもたちにも夢を与えてほしい」と激励すると、白砂選手は「体幹や体の左右のバランスを鍛え直し、記録も伸びてきた。自分のやり投げができるようがんばりたい」と真剣な表情で応えました。

明治安田生命（相）広島支店の武岡支社長と岩見団長

7/1（木） 「地域の伝統文化」助成金
宮之庄神楽団に 50 万円の助成

（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団が、地域の伝統文化の継承・発展を担う団体として宮之庄神楽団に 50 万円の助成を行うにあたり、目録贈呈式を行いました。

この助成金は平成３年に創設され、今年で 31 年目。今年度は全国 37 都道府県で 43 事業に交付されます。目録を受け取った岩見和美（いわみかずみ）団長は「神楽が地域からなくなると復活は困難。必要な衣装などに活用したい」と喜びました。

きたひろお知らせ

伝言板

Kitahiroshima information

分からないことは各問合せ先にお気軽にご連絡ください。
IP 電話番号は下４桁のみを記載しています。

医師・看護師育成奨学生募集

将来、医師や看護師、准看護師として、北広島町内の医療機関などに勤務しようとする人へ、修学などに必要な資金（奨学金）をお貸しします。

対象者（すべてに該当する人）

○医師や看護師、准看護師として町内の医療機関などへ勤務する意思のある人

○学業または臨床研修の成績が優良で、心身ともに健全な人

○北広島町修学奨学金貸与条例に基づく奨学金を受けていない人

※北広島町内に住所がある必要はありません。

貸付金額・期間（上限）

○医学生…月25万円・6年

○研修医…月25万円・2年

○看護師学生…月10万円・5年

○准看護師学生…月5万円・2年

返還方法　返還は貸付期間満了の6か月後からの開始とし、貸与期間の2倍に相当する期間内に返還します。奨学金は無利子で、月賦、年賦、一括などから、返還方法を選ぶことができます。また、条件により一定期間の返還猶予がある場合があります。

返還免除　貸付を受けた期間の1・5倍の期間、町内の医療機関などに勤務した場合は、奨学金全額の返還を免除します。また、条件により奨学金の一部が返還免除となる場合があります。

応募方法　保健課にある申請書に記入し、必要書類を添えて提出してください。募集要綱や申請書は、町ホームページからのダウンロードもできます。

受付期間　9月1日㊌～30日㊍

貸付決定　貸付決定については、提出書類の審査と面接の結果によります。

問保健課健康増進係IP☎1853

肺炎球菌ワクチン予防接種

高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチン予防接種は、肺炎にかからない、またはかかっても重い症状になるのを防ぐ有効な手段です。

定期接種として使用するワクチンは、「23価肺炎球菌莢膜（かはいえんきゅうきんきょうまく）ポリサッカライドワクチン」です。

予防接種の助成対象となる人には、すでに通知しています。必要事項を確認して、令和4年3月31日㊍までに接種してください。

接種券を紛失した場合や、対象年齢の確認など、詳しくはお問い合わせください。

注意事項

○これまでに、23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンを1回以上接種した人は、当該予防接種を定期接種として受けることはできません。

○新型コロナワクチンを接種している人は、他のワクチン接種と間隔を前後2週間空ける必要があります。接種間隔をよく確認してください。

問保健課健康増進係IP☎1853

歯周疾患検診を受診しよう

歯周病は、成人期の歯を失う最大の原因となります。また、歯周病は全身の疾患と深く関連し、糖尿病や心臓病などの生活習慣病を引き起こすと言われています。

定期的に歯科検診を受け、歯周病を予防しましょう。今年度の対象者には、歯周疾患検診の受診券を送付しています。受診券を紛失した人はお問い合わせください。

対象者　今年度中に40・50・60・70歳になる人

実施医療機関　町内の歯科医院

費用　1人1回500円

受診期間　令和4年3月末まで

問保健課健康増進係IP☎1853

児童扶養手当の現況届提出

児童扶養手当を受給している人は、毎年8月1日現在の状況を届け出る必要があります。

これは、年に1度の状況報告により「手当を引き続き受ける要件が満たされているか」を確認するためのものです。

提出が必要な人には、すでに書類を送付しています。内容を確認し、現況届に必要事項を記載のうえ、添付書類とあわせて、受付期間中に受給者本人が来庁し、提出してください。

受付期間 8月31日㊋まで
※㊏・㊐・㊗を除く
受付時間 午前8時30分～午後5時15分
受付場所 福祉課・各支所住民係
問福祉課子育て支援係IP☎1851

社会生活基本調査を実施します

総務局統計局では、10月20日㊌を基準日として、社会生活基本調査を実施します。

この調査は、私たちが1日のうちどのような時間の過ごし方をしているか、過去1年間の自由時間にどのような活動を行ったかについて調査し、仕事と生活の調和の推進、少子高齢化対策などの政策に必要な基礎資料を得ることを目的としています。

調査をお願いする世帯には、10月上旬から中旬にかけて、調査員が調査書類を配布しますので、協力をお願いします。

問総務課情報電算係IP☎1850

子どもの人権110番強化週間

広島法務局と広島県人権擁護委員連合会では、いじめや児童虐待、インターネットによるプライバシー侵害などの被害にあっている子どもたちが発する信号をいち早くキャッチし、問題の解決を支援するため、専用電話相談「子どもの人権110番」を常時開設しています。

8月27日㊎から9月2日㊍までの間を、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、受付時間を延長して電話相談を受け付けます。相談無料で、相談内容の秘密は守ります。

相談窓口 子どもの人権110番（フリーダイヤル）0120-007-110（ぜろぜろなな ひゃくとおばん）
実施期間 8月27日㊎～9月2日㊍（7日間）
受付時間 午前8時30分～午後7時
※㊏・㊐は午前10時～午後5時
問人権・生活総合相談センターIP☎5020

人権擁護委員が委嘱されました

人権擁護委員は、日常生活に埋もれている人権問題をすくい上げるために、法務大臣から委嘱された民間ボランティアです。

さまざまな経歴を持った人権擁護委員が、その経験を生かして、人権相談を受けたり、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

また、「人権を侵害された」といった申告などがあった場合には、事案に応じて、法務局の職員と協力して事実関係を調査し、被害者の救済のため、最善の方法を一緒に考えます。

北広島町では、7月1日付けで次の5人が委嘱されました。

人権擁護委員
西田智絵（にしだともえ）（新任）
栗栖千賀子（くりすちかこ）（新任）
田村留美（たむらるみ）（新任）
石橋源郎（いしばしげんろう）（再任）
益田康徳（ますだやすのり）（新任）
問人権・生活総合相談センターIP☎5020

お詫びと訂正

広報きたひろしま8月号の裏表紙「事業者への支援」の記事のなかに誤りがありました。お詫びして訂正します。

訂正内容 頑張る中小事業者月次支援金センターの電話番号
誤 082-248-0853
正 082-248-6853
問商工観光課商工振興係IP☎8080

つどう つながる つちかう仲間

地域づくりセンターだより

地域づくりセンターでは、年間を通じてさまざまな行事・講座や自主サークルの活動などが行われています。施設利用案内や自主サークルの一覧表など、詳しくは町ホームページをご覧ください。

「スマホ教室」第２弾　開催決定！！

７月に各地域づくりセンターで開催したスマホ教室は好評のうちに終了、「ぜひ続きを」という声が多かったため、第２弾を開催します。

第２弾の教室では、アプリやカメラの利用などについて学びます。内容など、詳しくは町ホームページで確認するか、各地域づくりセンターにお問い合わせください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては中止する場合があります。

地域づくりセンターの情報はこちら▶

◀スマホ教室第１弾

▷**日程**

（豊平）８月 26 日㈭　（千代田）９月９日㈭

（大朝）９月 30 日㈭　（芸北）　10 月７日㈭

▷**時間**　午前 11 時～午後３時 30 分

▷**会場**　各地域づくりセンター

▷**申込**　８月 23 日㈪から各会場で電話受付します。受講は町内在住の人に限ります。

問芸北地域づくりセンター（芸北文化ホール）　IP ☎２０７０　大朝地域づくりセンター　IP ☎３０２５
千代田地域づくりセンター（北広島町まちづくりセンター）IP ☎２２４９　豊平地域づくりセンター　IP ☎４０２０

ミニとしょかん通信

今月の図書館職員おすすめ本

『伝統行事がわかる図鑑③秋のしきたり』

（新谷尚紀監修／ポプラ社）

この本は、重陽の節句や新嘗祭など、日本に伝わる秋の伝統行事と、それにまつわるしきたりが掲載されています。

秋は収穫の季節。収穫を喜ぶさまざまな行事があります。北広島町出身の民俗学者、新谷尚紀先生の監修です。

※紹介した本は、本館に所蔵しています。貸出中の場合には予約もできます。

問北広島町図書館　IP ☎０５０－５８１２－３７７５

光高速通信網 FTTH化事業 工事の進捗状況

７月末時点での工事の進捗率は 40％程度で、ほぼ予定通りに工事が進んでいます。

今年度中に幹線の光化を完了し、来年の春からは各戸の切替工事に入れるよう進めていきます。

また、工事のため私有地などへ電柱を建てたり、工事車両の進入をお願いする場合がありますので、協力をお願いします。

問㈱ちゅピ COM　☎０８００－５５５－２５２５

工事の様子

>>> ¥¥¥ 納期限

8月31日（火）

●町県民税［2期］
●国民健康保険税［2期］
●後期高齢者医療保険料［2期］

9月30日（木）

●固定資産税［3期］
●国民健康保険税［3期］
●後期高齢者医療保険料［3期］

>>> Population 人口と世帯

［7月末日現在］　（　）：前月比

人　口	17,937人	（24減）
転　入	32人	
転　出	42人	
出　生	9人	
死　亡	23人	
世帯数	8,439世帯	（13減）

>>> Questionnaire 読者アンケート

「広報きたひろしま」に対する意見や感想などをはがきでお寄せください。
いただいた意見や感想などは紙面で紹介する場合があります。

〒731-1595
北広島町総務課
広報きたひろしま担当者　宛
（住所は省略できます）

①今月号の感想
②広報紙に対する意見
③ペンネーム
④居住地域・年代

締切 9/10（金）

>>> Editor's postscript 編集後記

私事ながら、わが母校が創部39年目にして初めて、高校野球広島県大会の決勝に駒を進めました。準決勝を勝ち上がると、OB会や同期生のLINEグループには歓喜のメッセージが溢れました。決勝の球場にもたくさんの懐かしい顔。なかには当時畏れ多くて話しかけるなんてできなかった先輩方も。

思い出す17歳の夏。練習Tシャツに印刷された「Friendship」の文字と日日草。灼けたアスファルトのにおい、乾いた球音、ペットボトルのなかで溶ける氷。人をつなぐ、熱くなる。「スポーツの力」を感じた真夏の取材となりました。㊙

Stop 消費者トラブル

眼鏡型の拡大鏡 着用したまま歩くと危険です

事例1

眼鏡型の拡大鏡を着用したまま歩いたところ、段差で転倒し、肋骨を骨折した（80代男性）

事例2

眼鏡型の拡大鏡を30分ほど使用したところ、外した後、目の焦点が合わず、吐き気をもよおし、しばらく横になるほど気分が悪くなった。（60代男性）

≪ひとこと助言≫

●眼鏡型の拡大鏡は、手の届く程度の距離にあるものを拡大して見るための商品で、視力を矯正するものではありません。着用したまま歩行すると転倒する恐れがあるのでやめましょう。
●眼鏡型の拡大鏡は、一人ひとりに合わせられて作られていません。できるだけ購入前に使用感などを確認し、眼鏡を持っている場合は、眼鏡との重ね掛けも試しましょう。
●見え方に異常が生じて気分が悪くなったり、頭痛やめまいが起きたりすることもあります。目や見え方に異常を感じたら、使用を中止しましょう。

（見守り新鮮情報　第394号）

◎困ったときは、消費生活相談室へ!!

北広島町消費生活相談室
☎0826－72－5571［消費生活相談室専用］
毎週木曜日（祝日・年末年始除く）10時～12時・13時～16時

問 広島県生活センター
☎082－223－6111
月～金曜日（祝日・年末年始除く）9時～17時

問 北広島町人権・生活総合相談センター
IP☎050－5812－5020

求人情報

町では、無料職業紹介を行っています。
町内での就職を考えている人は、気軽に相談してください。

問 北広島町求人情報センター
（まちづくり推進課定住推進係内）
IP☎050－5812－1856

町内求人情報の検索はこちら

北広島町 求人情報 検索

広報きたひろしま9月号
No.199 令和3年8月20日発行
発行／北広島町　編集／総務課

〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田1234
Tel 050-5812-1850 Fax 0826-72-5242

▲きたひろ情報アプリ
北広島町公式LINEアカウント▶

祝

東京 2020 パラリンピック
やり投げ F46 クラス出場！
8 月 30 日㊊ 9:30 競技開始予定

応援しよう!

北広島町出身・在住

白砂匠庸（しらまさたくや） 選手

一昨年の世界パラ陸上大会を経験してから、ピットに入ってからの気負いがなくなり、リラックスして投てきに臨めるようになりました。精神的な成長もあったと思います。海外の強い選手もたくさんいますが、競技当日も平常心で、メダルと日本記録を目標にしたいです。
今まで応援してくれた北広島町のみなさんに感謝しています。少しでも恩返しになるよう、そして子どもたちにも「やればできる」と未来への夢を持ってもらえるようがんばります。舞太郎のぬいぐるみを選手村へ持って行きますね（笑）。応援よろしくお願いします！

応援コメント

白砂選手ってどんな人？過去のインタビュー記事はこちらから▶

白砂選手、ご家族、支えてこられたみなさま、おめでとうございます。
暗いニュースが多いなか、このすばらしいニュースは私たちに力を与えてくれました。
白砂選手らしい自然体の投てきを期待して、まちを挙げて熱いエールを送ります。

北広島町 町長　箕野博司（みのひろし）

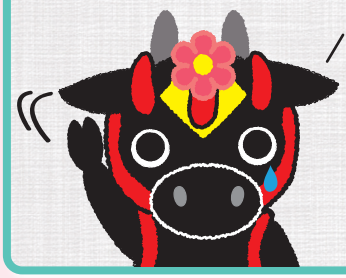
東京 2020 パラリンピック出場おめでとうございます。
地域にとってとてもうれしいニュースでした。
最高のパフォーマンスを期待しています。
日頃、指導いただいている地域の子どもたちとともに北広島町から熱い応援を送ります。

北広島町スポーツ協会 会長　長田克司（ながたかつし）

¡Vamos a conversar en Español!

（バモス ア コンベルサル エン エスパニョル）

ドミニカ共和国の公用語　スペイン語で話してみよう！



¡Nunca olvidaré!
（ヌーンカ オルビダレ）

【訳】きっと忘れない！

がんばれ！ドミニカ共和国
キタ♥恋CAMP
北広島町はドミニカ共和国を応援しています
República Dominicana Kitahiroshima Japan

支え愛

新型コロナウイルス感染症予防には、みなさん一人ひとりの心がけや協力が必要です。
デマや風評に惑わされず、感染者や医療従事者、その家族への誹ぼう・中傷・差別はやめましょう。
「こんなときだから」こそ、人には優しく、地域で支え合ってコロナ禍を乗り越えましょう。